

事業の概要



- ▶ 事業名称 沼津市新中間処理施設整備運営事業
- ▶ 所在地 沼津市山ヶ下町 2404-3他
- ▶ 敷地面積 約 24,576m²
- ▶ 事業方式 DBO(Design:設計、Build:建設、Operate:運営)方式
- ▶ 事業期間 建設工事 特定事業契約締結日から令和11年(2029年)12月31日まで
運営管理業務 令和12年(2030年)1月1日から令和32年(2050年)3月31日まで
- ▶ 落札者 代表企業 株式会社タクマ 東京支社
構成企業 前田建設工業株式会社 静岡営業所
株式会社東畑建築事務所 本社オフィス東京
大藤建設株式会社
株式会社加藤工務店
株式会社佐藤建設
株式会社タクマテクノス
- ▶ 落札金額 49,940,000,000 円 (消費税及び地方消費税を含む)
(内訳) 建設工事 31,152,000,000 円
運営管理業務 18,788,000,000 円

施設の概要

ごみ焼却施設

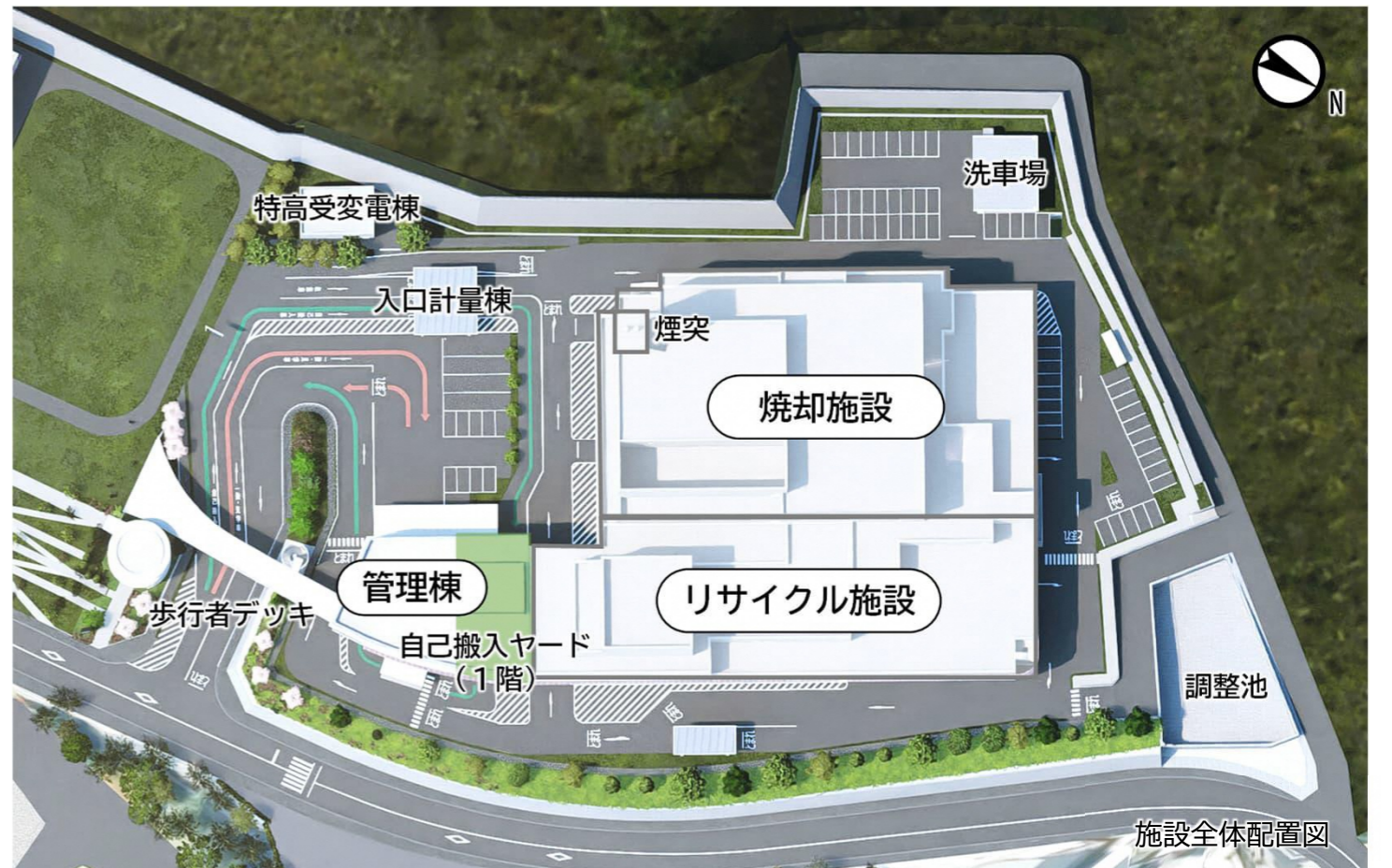
- ▶ 処理規模 210 t/日(105 t/日×2炉)
- ▶ 処理方式 ストーカ式焼却炉
- ▶ 発電容量 3,590kW
- ▶ 余熱利用 余熱利用施設(近隣に整備予定)への熱供給

表. 排ガス基準値(O₂=12%換算値)

項目	基準値
ばいじん	0.01 g/m ³ _N
硫黄酸化物(SOx)	20 ppm
塩化水素(HCl)	40 ppm
窒素酸化物(NOx)	50 ppm
ダイオキシン類	0.05 ng-TEQ/m ³ _N
水銀(Hg)	30 μg/m ³ _N

リサイクル施設

- ▶ 処理規模 23t/日(1日あたり5時間稼働)
- ▶ 処理方式
 - 破碎・選別処理系列(16.3t/日) : 回分処理による手選別+破碎+選別+貯留・搬出
 - 缶・ペットボトル処理系列(1.3t/日+1.6t/日) : 選別+圧縮・結束+貯留・搬出
 - ビン処理系列(3.5t/日) : 破碎+貯留・搬出
 - 危険ごみ処理系列(0.3t/日) : 選別(ヤード内での仕分け)+(一部)破碎+貯留・搬出
 - ストック機能 : 貯留・搬出

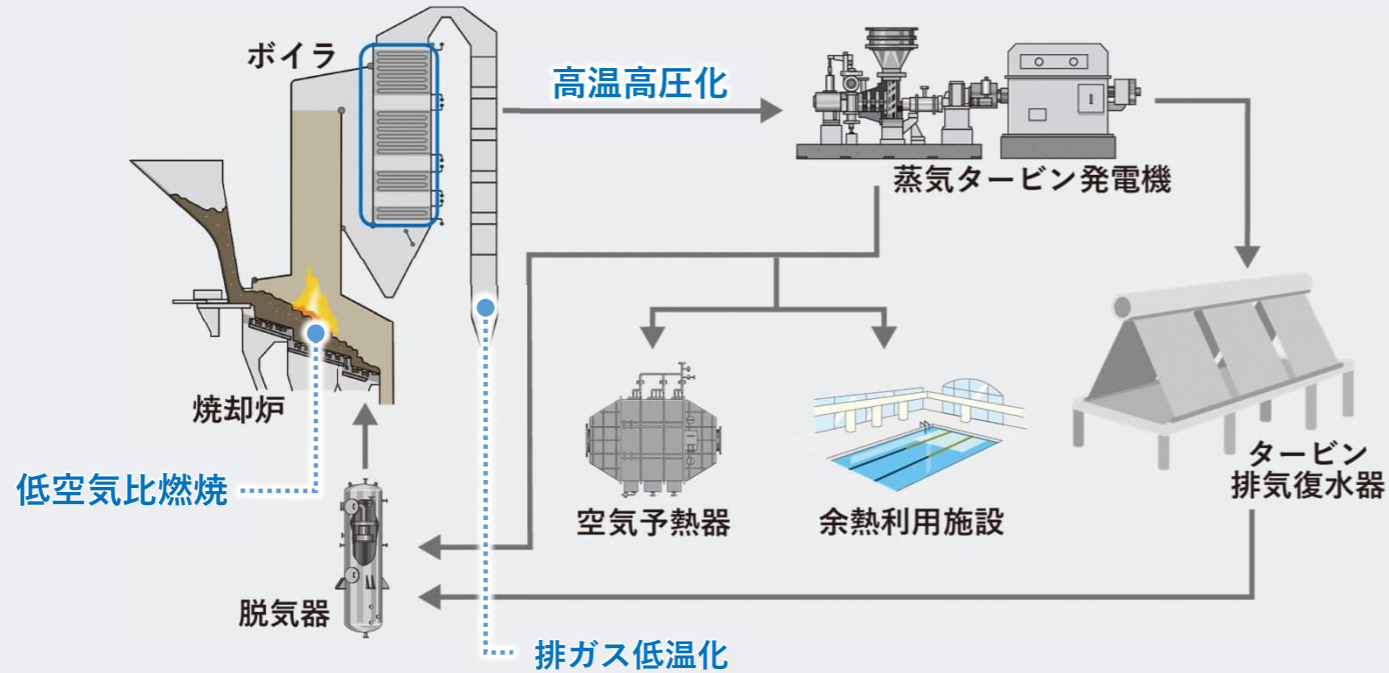


施設全体配置図

施設の特徴

高効率発電システム

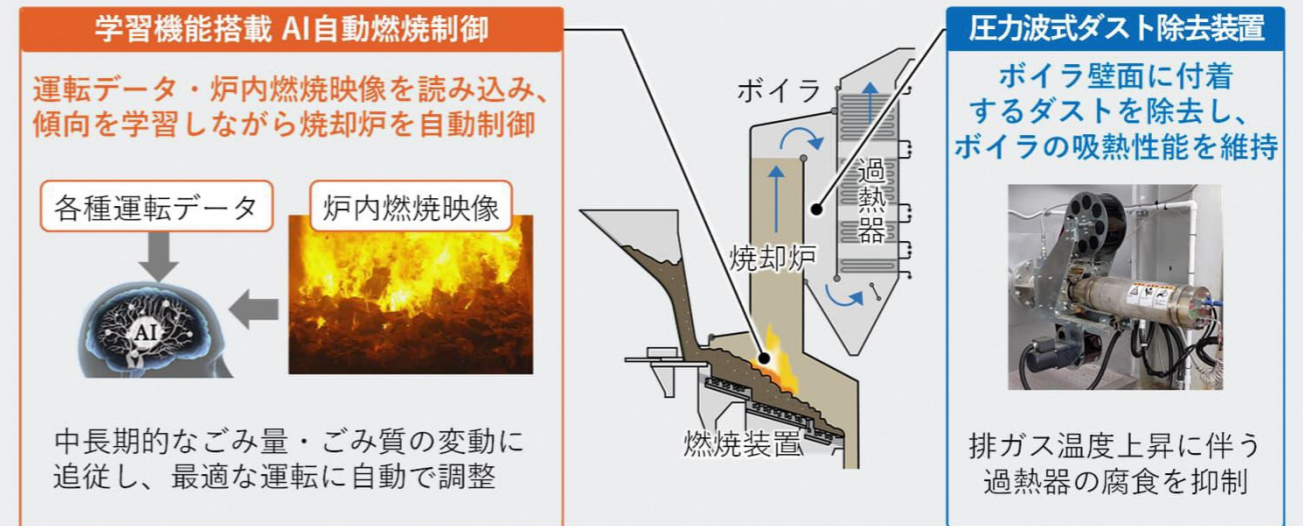
- ▶ ごみ焼却で発生する熱を最大限回収できる、低空気比燃焼や排ガス低温化技術を導入します。
- ▶ 発電効率を向上させるため、ボイラの蒸気条件を高温高压化します。
- ▶ タービン抽気を用いて、余熱利用施設への熱供給を行います。



※本フロー図は、一部の設備・機器の記載を省略しています。

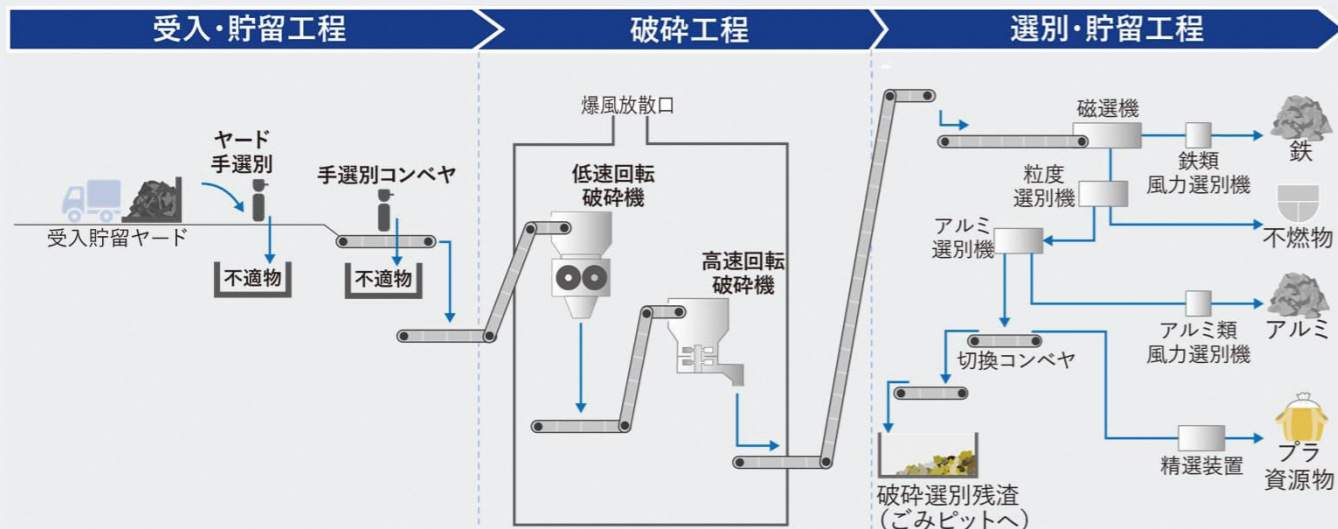
長期安定稼働を実現する高耐久な焼却炉

- ▶ 中長期的なごみ量・ごみ質の変動に追従するため、運転データ・炉内燃焼映像を読み込み、傾向を学習しながら焼却炉を自動制御する、「学習機能搭載AI自動燃焼制御」を導入します。
- ▶ 排ガス温度上昇に伴う過熱器の腐食を抑制するため、ボイラ壁面に付着するダストを除去し、ボイラの吸熱性能を維持できる「圧力波式ダスト除去装置」を導入します。
- ▶ 長寿命化を実現するため、焼却炉やボイラには腐食や摩耗に強い高耐久な材料を採用します。



リサイクル施設の処理システム

- ▶ せともの・ガラス類、家電製品、金属類、その他プラスチック資源ごみを処理する破碎・選別処理系列は、高品質な資源物を安定的に回収できる高効率選別システムを構築します。
- ▶ リチウムイオン電池等に起因した火災事故を防止するため、処理システムの各工程に多重の火災対策を導入します。
- ▶ その他プラスチック資源ごみに含まれる硬質プラスチックの水平リサイクルを実現するため、引取基準を満足する高い純度の硬質プラスチック(プラ資源物)を選別・回収します。



※本フロー図は、一部の設備・機器の記載を省略しています。

周辺環境に配慮した施設配置

- ▶ 敷地北東側の近隣住宅への配慮
 - ・ 近隣住宅への圧迫感を低減するため、高さの低いリサイクル施設を東側に配置し、敷地北東側を起点に香貫山側に向かって外壁をセットバックさせます。
 - ・ 近隣住宅からの眺望を考慮し、市道沿いの植栽は、北側に常緑樹等を密に植栽します。
- ▶ 余熱利用施設への配慮
 - ・ 余熱利用施設や広場への圧迫感を低減するため、余熱利用施設側に駐車場や低層の管理棟を配置し、高層の工場棟を遠ざけます。

